

【添付資料】 出演者プロフィール



琉球交響楽団室内オーケストラ（管弦楽）

2001年3月「琉球交響楽団設立コンサート」を開催。定期演奏会や小中高等学校での音楽鑑賞会の他、0歳児からのコンサート、琉球芸能とのコラボレーション、沖縄県内離島公演を積極的に行っている。2016年大友直人が音楽監督に就任。2017年、全国共同制作オペラ「ブッチーニ:歌劇「トスカ」」沖縄公演において管弦楽演奏を務め好評を博した。2022年6月には沖縄復帰50周年記念特別公演として東京公演、大阪公演を開催。聴衆とのふれあいを大切に、県民に親しみ愛され、国際色豊かな沖縄県の顔となる交響楽団を目指し活動している。2005年

ファーストアルバム「琉球交響楽団」、2020年セカンドアルバム「沖縄交響歳時記」をリリース。第19回宮良長包音楽賞受賞。



小崎雅弘（指揮）

東京生まれ。幼少よりヴァイオリンを学び、合唱・ブラスバンドの指揮を経て国立音楽大学に入学。在学中より本格的な指揮活動を開始し、モーツァルト「魔笛」を指揮しオペラデビュー。その後、新国立劇場、藤原歌劇団、二期会、びわ湖ホール等を中心にオペラの指揮に関わり内外の指揮者のアシスタントを務め、そのレパートリーは60本を越える。これまでに東京フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、山形交響楽団、九州交響楽団等のオーケストラに客演。またミュージカルの分野では1991年から2シーズンにわたり劇団四季の「オペラ座の怪人」を200回以上指揮。指揮を高階正光、ピアノを永井宏の各氏に師事。東京藝術大学オペラ科講師。



横山だいすけ（ゲスト）

2006年に国立音楽大学音楽学部声楽学科を卒業。幼い頃から歌が大好きで、小学校3年生から大学卒業まで合唱を続ける。劇団四季時代は「ライオンキング」などの舞台に出演。NHK Eテレ『おかあさんといっしょ』では、9年間“歌のお兄さん”を務める。卒業後はドラマや声優、CM、舞台など活躍の場を広げている。ソロアーティストとしては初のオリジナルアルバム「歌袋」や童謡カバーアルバム「だいすけのどうよう」、初の作詞にチャレンジした楽曲が含まれるアルバム『笑顔にドッキューン!』をリリースした。2026年4月に芸能活動20周年を迎えるにあたり、これまでの人生で関わってきた様々なジャンルの名曲を歌唱するソロコンサート「My Songs Concert」を開催中。また、5月には20周年記念アルバム『笑顔晴れ-20th Anniversary-』を発売。



下地美波（ゲスト）

宮古ポップスシンガー。中学1年ダンスユニット「パニパニガールズ」でデビュー、アルバム1枚シングル4枚リリース、島内外で活動。その後、高校1年からRBCiラジオ「わいわいワイドー」のパーソナリティーを務めている。また下地暁のサポートメンバーとして活動する傍ら、2020年角松敏生プロデュース・シングル「あなたに届けたい」「宮古ブルーの風」をリリース。2024年1月18日には、角松敏生プロデュース「愛しゃ~kanashya~」をリリース



島警察署より「感謝状」等を受賞。

みやこ少年少女合唱団（ゲスト）

1974年（昭和49年）に結成し、今年で52年目を迎える伝統ある合唱団。島内全域から歌の大好きな小中学生が集まり、音楽を通して心豊かな児童生徒の育成に努めている。主な活動は宮古島の様々なイベントや式典への参加、沖縄県少年少女合唱祭への出演や交歓演奏会、様々なアーティストとのコラボ演奏など幅広く活動。また、毎年、定期演奏会等を開催して音楽の楽しさや素晴らしさを市民に伝えている。これまで、全日本ジュニアコーラスフェスティバル「そよかぜ賞」「県社会教育功労賞」「宮古島市親切運動活動賞」宮古



空馬良樹（司会）

NSC 東京校 5期出身。2011年4月「あなたの街に住みますプロジェクト」が開始した際には、初代沖縄県住みます芸人を担当。よしもと沖縄に所属する芸人たちの兄貴分として、TV・ラジオ・イベントなど様々な分野で活躍。特に司会としての定評が高く、スポーツイベント・学園祭・シンポジウム・企業パーティー・披露宴など、依頼多数。趣味は子育て、漫画(三国志)、映画鑑賞、人と話すこと。特技はバレーボール、バスケットボール、コザガイド。